

流山児★事務所公演

RYUZANJI 流山児 SCOPE

宮崎兄弟資料館開館30周年記念
桃中軒雲右衛門生誕150周年記念

夢、桃中軒、牛右衛門の

ゆめ とつちゅつけんうしえもの



宮崎滔天



雲右衛門



黄興



槌子



革命命
報民



2023年

12月17日回~24日回 下北沢 駅前劇場

作:宮本研 脚色:詩森ろば 音楽:朝比奈尚行 演出:流山児祥



作○宮本研 脚色○詩森ろば (serial number)
演出○流山児祥 音楽○朝比奈尚行 (時々自動)

シライケイタ (劇団温泉ドラゴン) 山崎薫 井村タカオ 杉木隆幸
伊藤弘子 上田和弘 甲津拓平 眞藤ヒロシ 木暮拓矢
霍本晋規 (劇団三日月湊) 石本径代 三上陽永 (ぼこぼこクラブ)
五島三四郎 春はるか 本間隆斗 V・銀太 流山児祥

振付○神在ひろみ 浪曲指導○東家孝太郎 音楽協力○高橋牧
演出補○三上陽永 方言指導○霍本晋規 殺陣○上田和弘
舞台美術○V・銀太 照明○奥田賢太 南方悠里 映像○浦島啓
音響○大久保友紀 島猛 衣裳○竹内陽子 写真○横田敦史
演出助手○山川美優 敵部七歩 舞台監督○小林岳郎 木暮拓矢
協力○宮本新 serial number 時々自動 劇団温泉ドラゴン
ぼこぼこクラブ 劇団三日月湊 グローシャ 株式会社A4 MeiMei
株式会社コロレ 株式会社ステージオフィス 合同会社ヨルノハテ
有限会社ジェイ・クリップ 株式会社エクサプローズプロモーション 王様美術
高津装飾美術 荒尾市日中友好促進会議 宮崎兄弟資料館 (順不同)
主催○一般社団法人流山児カンパニー

〔助成〕ARTS COUNCIL TOKYO 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
【東京ライブ・ステージ応援助成】

2023年 12月17日(日)~24日(日)

	12/17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)
14時	●	★	●	★	●	●	●	●
19時	●	●	●	●	●	●	●	●

*上演時間 2時間30分 (途中休憩あり)
*受付開始・開場は開演の30分前
★=演出家・出演者らによるアフタートーク開催 (詳細はWEB)

全席指定 前売◇4,500円 当日◇5,000円
学生・U25 (25歳以下) ◇2,500円 (証明書提示)
高校生以下◇1,000円 平日夜◇4,200円

RYU'S会員◇3,600円 はじめて割◇4,000円(各回5枚)
訪日外国人◇3,000円 リピーター◇4,000円(半券持参)

*劇団予約のみ

チケット取扱

前売開始 9月25日(月)

流山児★事務所 TEL: 03-5272-1785(平日13:00-17:00)
ULR: <https://www.ryuzanji.com> Email: mail@ryuzanji.com

WEBで簡単
チケット購入

パソコンやスマホから
チケットが予約・購入できます。
電子チケット。印刷OK。
コンビニ決済、クレジット決済可。

購入はコチラ▼



<https://teket.jp/7314/26408>

予約・お問合せ

りゅうざんじ じむしょ
流山児★事務所
RYUZANJI.COM



百年前、アジアが大きく揺れ動いていた。
眠れる獅子の中国は清朝末期、革命が芽生えていた。
日本では熊本の地に、新しい時代の訪れを待ち望む男
がいた。

宮崎兄弟の末弟、宮崎滔天である。

自由民権運動の志士である兄たちの影響を受けた滔天
は、兄の遺志を革命に身を投じた中国の人々に重ね合
わせ、惜しめない愛と支援を送り、孫文と仲間たちに出
会い生涯に渡る固い信頼と友情の絆を結ぶ。

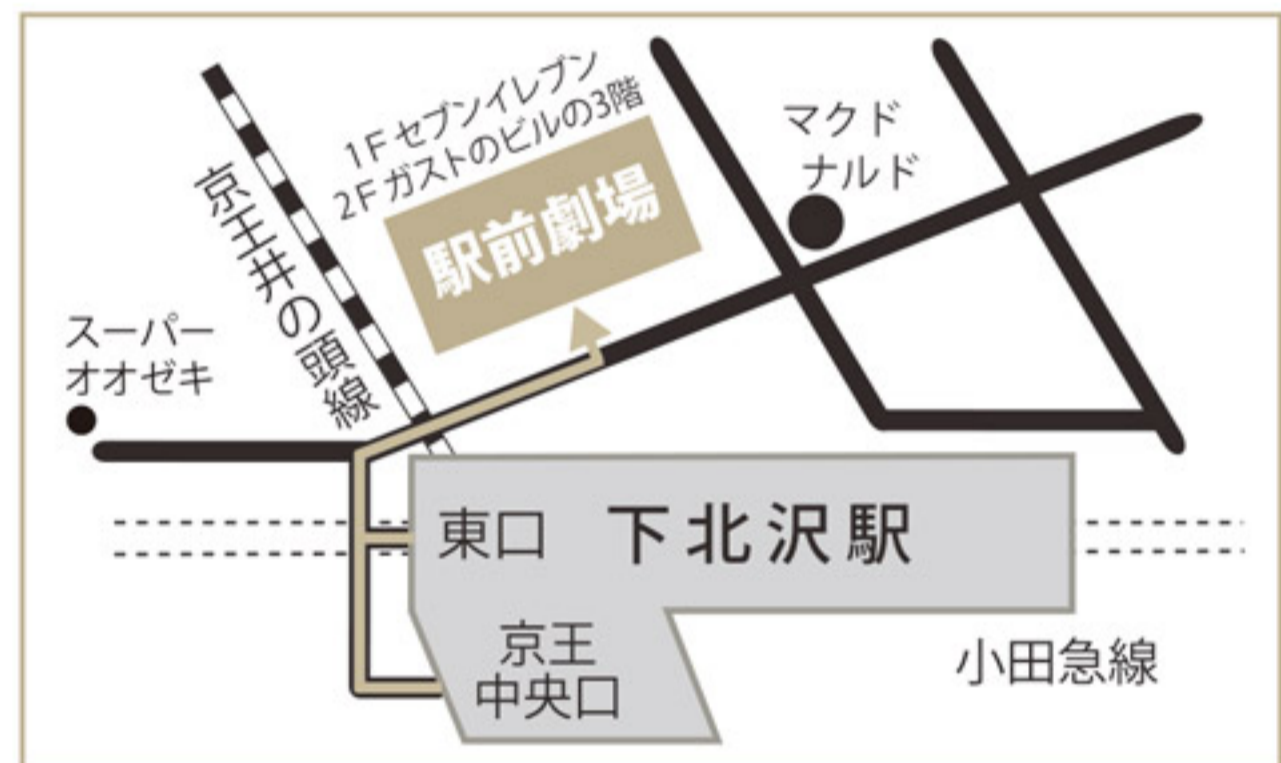
民族の独立と平和、民衆のための新しい国家の建設。

しかし、天下国家を論じアジアを駆け巡っていた滔天
はある日突然、浪曲師・桃中軒雲右衛門の門を叩く。
革命家から浪曲師：桃中軒牛右衛門となった滔天。
彼の心に何が起こり、何をしようとしたのか？

日本アカデミー賞脚本賞受賞の劇作家：詩森ろばが
「現在の視点」で大胆にアダプテーション。
百年前、日本と中国の自由と民権を求める人々の交流
を、おんたちの視点で描いた友情と冒険の物語。

下北沢 駅前劇場

〒155-0031東京都世田谷区北沢2-11-8 TAROビル3F
☎ 03-3414-0019



下北沢駅・小田急線「東口」、京王井の頭線「京王中央口」より徒歩約3分

バリアフリー観劇情報 (ご利用の際は前日までにご連絡ください)
*車イス席をご用意します。劇場にはエレベーターがあります。
*視覚障がいの方を対象に台本を事前に貸し出します。



宮本研 1926 - 1988
劇作家。熊本県生まれ。幼少期を天草、諫早で過ごし、1938年父親の勤務地の北京へ渡り、44年帰国。50年、九州大学経済学部卒業。高校教員を経て法務省に勤務。在職中に演劇サークルで作・演出等を担当、演劇界へ。62年に法務省を退職し、以後劇作家一本に。同年、『日本人民共和国』『メカニズム作戦』で第8回岸田戯曲賞、翌63年『明治の枢』で芸術祭奨励賞を受賞。(写真:中矢徳恵子)

2022年の劇評

革命を浪曲で歌う宮崎滔天を描く効果的な劇構造。芸が堪能できる舞台だった。
劇評家・藤原央登「週刊金曜日」2022/9/9号

普段は劇作家・演出家であるシライケイタが浪花節を唸り踊ってエネルギーに熱血漢の滔天を演じた。山崎薫と伊藤弘子の姉妹コンビの掛け合いが面白く、女性革命家：秋瑾、桃中軒雲右衛門の妻など女性の登場人物が物語を支え膨らみを与えているのが秀逸だ。

2022 演劇評論家・河野孝「仏教タイムス」

【演劇批評誌・シアターアーツ 劇評家54人が選ぶ2022ベスト】
【演劇雑誌・JOIN 私が選ぶベストワン2022】演劇ジャーナリストなど85人が選ぶベスト (作品・音楽・主演・団体・ベストアーティストなど多数選出)

〔熊本公演〕2023年12月10日(日)荒尾総合文化センター